



# 林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.333 . 1997 . 5 . 1



岡山県立森林公園

## 目 次

就任のごあいさつ .....	2 ~ 3	“樹” .....	6
頑張ろうしいたけ生産 .....	3	林研だより .....	7
シリーズ森林公園 .....	4	お知らせ .....	8 ~ 9
普及指導最前線 .....	5	林産物市況等 .....	10

“おかやまの 未来をひらく 農林漁業”

岡山県 農林漁業活力向上運動

## 就任のごあいさつ

農林部参与(林政課長)

加藤 和雄



新緑の好季節を迎え、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私、この度の人事異動により林政課長を拝命いたしました。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本県の森林資源は約十七万畝余りの人工林を中心に充実しつつあるものの、森林・林業・木材産業を取りまく情勢は、山村の過疎化に伴う林業の担い手の減少・高齢化・林業生産基盤の整備や高性能林業機械の導入の立ち遅れ等厳しい状況におかれております。

このような厳しい状況下で、貴重な森林資源を適切に維持・管理し、木材の生産・供給を行

うとともに、森林の公益的機能をより向上させていくために欠かせない林業の担い手は減少・高齢化が進み、もはや山村地域だけでは解決できないほど深刻化しているのが現状であります。

このため、本県におきましては、国産材時代に向けた県産材の需要拡大、流通・加工体制の整備、林業労働力対策の推進に積極的に取り組んでいくところでございます。

また、森林を県民共通の財産として、県民総参加で守り育ていくため平成五年度から「美しい森づくり運動」を展開しており、その運動の輪は年々大きく広がっているところで、

これら施策の推進にあたりましては、地域の皆様方をはじめ、関係機関と連携しながら進めてまいりたいと存じますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

治山課長

永井 孝治



新緑の候を迎え、会員の皆様方には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

私は、この度の異動により、治山課長を拝命いたしました。

皆様のお力添えをいただきながら、本県の森林・林業の発展に努力する所存でございますので、よろしくお願い致します。

皆様方も御承知のとおり、最近の森林・林業に対する県民のニーズは、単に木材等の供給にとどまらず、県土の保全、水源源のかん養、保健休養等の公益的機能の高度発揮へと多様化しております。

また、長期にわたる林業の収益性の低迷、一次産業労働者の減少等林業を取り巻く環境も厳しいことから、持続可能な森林経営の実現とともに、公益的機能の向上に向けて、森林の育成・管理を行って行くことが緊

要なことと考えております。

そこで、造林事業につきましては、造林・間伐を重点的に推進し、広葉樹や複層林の造成等に努めるとともに、自然に親しむ場としての森林空間の整備を推進することとしております。

また、保安林の適正な配備・管理に努めながら、秩序ある林地開発を指導するとともに、山地災害の未然防止、水源地域での水源かん養機能の強化、豊かな環境づくりを柱として総合的な治山事業を推進することとしております。

林道事業につきましても、効率的な林業経営及び山村の振興を図るため、計画的に林道の開設、改良、舗装を推進することとしております。

これらの施策の推進に当たりましては、地域の皆様方をはじめ、市町村、関係団体等と調整を図りながら積極的に実施してまいり所存でございますので、今後とも、治山行政に対する格段の御指導・御協力をお願い致します。就任の御挨拶と致します。

林業試験場長

東 英 樹



風薫る新緑の季節を迎え、会員の皆様がたには益々健康のこととお慶び申し上げます。

私、この度の人事異動で林業試験場勤務を命ぜられました。

前任の農林部林政課では、皆様に大変お世話になりましたことを、心からお礼申し上げます。

ご承知のとおり、近年、森林に対する社会的要請は森林を木材生産の場としてのみでなく、森林のもつ多面的機能の高度発揮など、森林に対する要請が一段と多様化してきています。

しかしながら、林業全般を取り巻く諸情勢は、国産材需要の減少、輸入木材製品の増加や担い手の減少等が続いており、適正な森林の維持管理が困難になる事態が懸念されております。

このような情勢の中で、林業

試験場の試験研究も多様化し、県民の要望に添えていく必要があります。

このため、当場の試験研究の方向は、広葉樹を生かした資源造成、林業生産費の低減、特用林産物の生産振興、森林の多面的機能の高度発揮の四軸で取り組んでおります。

特に育林経費のコストダウンと労働力対策の両面から高性能林業機械作業システムの研究、また山村の地域おこしの基幹作目としての野生きのこの栽培化の研究、さらに近年多発する山火事に対応するための山火事跡地における緑化樹木の生長促進技術の確立は、重点の課題と考えます。

また、林業・木材産業界関係者の研修と広く県民の皆様が森林に接することにより森林・林業に親しみと理解を深めていただくための場として、平成三年から平成九年までの計画で岡山の森郷土樹木園、竹林展示園、山菜薬草木園等の整備をすすめております。今後ともご指導とご協力をお願いいたします。

## 頑張ろう！

### しいたけ生産

平成八年はしいたけの価格が持ち直し、今年は九州等の乾しいたけ産地を中心に植菌量が増えました。県内でも意欲を持たれた方が多かつたようです。平成七年度の岡山市場での入荷状況を見ると県内産の占有率は六十四%、輸入物(中国産)は二十八%となっています。しいたけ等の青果物については産地名(原産国)の表示が平成八年九月二十日から義務付けられることになり、乾しいたけについても、平成八年九月三十日から品名、原材料名等の表示が義務付けられました。本年四月一日からは「日本産・原木乾しいたけ」の消費を伸ばすための宣伝が強化されています。これは全国森林組合連合会、全国農業協同組合連合会等が構成メンバーとなつて日本産・原木乾しいたけをすすめる会が実施しています。これからは、消費者にとって生産者の顔が見えて安心感のあるしい

たけが伸びていくと考えられます。産地のブランド化を図り、消費者にアピールしていきましょう。菌床しいたけは都会の若い層を中心に売れています。県内でも生産量が年々増えてきており平成七年はしいたけ生産量の二十八%を占めています。菌床は菌床の良さ、特徴を生かして生産しましょう。しいたけ生産技術について今一度基礎的な内容を見直して、さらに頑張ってくださいと思います。(林業専門技術員 大森章生)

# シリーズ森林公園 1

## 開園から二十三年目を迎える

### 岡山県立森林公園

県立森林公園は、明治百年記念事業として昭和五十年七月に開園されたものです。

優れた自然環境にある森林の保護を目的とし、自然とのふれあいを通じて、県民の皆さんが自然への理解を深めていただくためにつくられたものです。

#### 〈施設のあらまし〉

場所、苫田郡奥津町と上斎原村にまたがっています。

面積、三三四畝、標高八四〇メートル、一〇〇畝、入園料は無料、遊歩道が二十一結あります。高床式の管理センターは八角形の屋根で四、五平方メートルの機能をもつ、公園の維持管理（管理事務所）利用者に対する自然解説展示（展示室）利用者に対するサービス、宿泊者用台所、浴室、休憩室、便所、救護室などがあります。

宿泊施設（森の家）は、自炊

式で有料、定員二十名、電話予約でOK、料金、大人（高校生以上）一、五七円、小・中学生、五二〇円です。

問い合わせは、（〇八六八）五二〇九二八まで

ここ二三年残雪が多く、オープンが四月下旬になっておりましたが、平成九年度は、雪どけも早く昨年より五日も早い四月二十一にオープンしました。しかし東北の春は遅くヤマザクラが五月上旬に咲き、県南とくらべると一ヶ月以上も花見が遅れることになりました。森林公園の春は一斉にやってきて、雪が解けると早春の草花のオンパレードで、ザゼンソウ、ミズバショウ、リュウキンカ、キクザキイチゲ、ハシリドコロ、キンキエンゴサクなど、すぐに数えきれなくなります。また、樹の花はマルバマンサク、タムシ

バ、イワナシ、オオヤマザクラ、オオカメノキ、ツノハシバミなどが先を競うかのように花をつけてその後に葉を芽ぶきます。ブナ、カラマツの芽ぶきもまぶしいほどに美しい、早春の花のオンパレードと落葉広葉樹の芽ぶきから森林公園の一年が始まります。

五月の森林公園は、ゴールデンウィークでにぎやかに始まり、谷あいに残る雪に歓声が聞こえ桜前線の最終地になる公園のヤマザクラ、オオヤマザクラの満開に出会うことができます。ブナ、カラマツなどの落葉樹が芽ぶき新緑の美しい季節です。宿泊施設「森の家」もゴールデンウィークはにぎわいそうです。



# 普及指導最前線

## 山火事跡地の復旧状況について

### 一 はじめに

玉野市において発生した大規模な山火事はいまだに記憶に新しいところですが、平成六年八月に王子ヶ岳周辺で二五八ha、翌七年八月にも神登山周辺で二二一haの森林を焼失しました。

この跡地を早期に復旧するため、ボランティアによる植栽活動や治山事業を幅広く展開しておりますので、その内容等をお知らせします。

### 二 ボランティアによる復旧活動

環境問題は、私たち人類にとつて二十一世紀の大きなテーマの一つですが、「この山火事跡地の復旧を自ら手伝いたい」と地元小学校や各職域等から多くの要請がありました。

このため、玉野市とも連絡調整を図りながら、「美しい森づくり運動」の一環として育てたドングリ苗木を植栽してもらうこととしました。

参加者たちは、慣れない手つきながら、一日も早いみどりの復元を願っているようでした。

今後は、植栽だけに止まらず、下刈りなど植栽木の手入れにも積極的に参加願いたいと思っております。(表一)

《表1》

活動月	ボランティア名	参加者数	植栽本数
H7.6	緑の少年隊	62人	2,200本
H8.4	連合岡山組員	1,200	8,000
H8.5	日比小学校児童・PTA	360	800
H8.5	少林寺拳法宇野支部	120	300
H8.10	岡山県教育庁職員	150	1,500
H8.10	玉野市信用金庫職員	200	1,120
H8.11	新日本宗教団体連合会	318	1,000
H8.11	玉野商工会議所会員	320	1,330
H8.12	日比小家庭教育学級	20	100



### 三 治山事業による復旧状況

山火事被害区域の約八八%を保安林が占めており、土砂の流出の防止や露出した岩石の転落の防止等を図るため、特に人家等に接近した区域から計画的に対策を進めております。

その主な内容は、焼失地へのドングリ苗木等の植栽やヘリコプターによる植物種子の散布、浮石を固定するための岩接着、

《表2》

年度	事業名	工事費	事業内容
H6	災害関連緊急治山保安林改良	42百万円 54	航空実播7ha、谷止1基 植栽3ha
H7	災害関連緊急治山復旧治山生活環境保全林整備保安林改良	396 281 96 117	航空実播7ha、岩接着52群他 航空実播17ha、谷止5基 植栽他33ha、管理道1,123m 植栽34ha
H8	復旧治山生活環境保全林整備保安林改良	170 63 122	谷止4基、岩接着42群、植栽10ha 植栽4ha 植栽26ha、防火帯1,638m
計		1,341	

傾斜の急な谷筋へは治山堰堤を設置しております。(表二)  
平成九年度以降も計画に基づいて実施し、平成十二年度までに復旧を完了させることとしております。

### 四 おわりに

玉野市ではタバコ等の投げ捨てを防止するため、「玉野市ポイ捨て防止に関する条例」を制定するなど、人災といわれている山火事の防止に積極的に取り組まれております。

丸裸となった山をみどり豊かな森林に戻すには多大な経費と永い年月が必要ですが、復旧活動等の体験を通して森林の重要性や山づくりのむつかしさなどを一人でも多くの方に理解してもらえればと願っております。

(岡山普及指導区 Ag上野和俊)



地球温暖化やオゾン層の破壊などグローバルな見地からの環境問題が注目を浴びています。

私たちが取り扱っている木質材料も、これらのことと深い関係があります。樹木は炭酸同化作用を行って炭素を木材として蓄積することで、地球温暖化を防止することに大きな役割を果たしています。したがって、健全な森林を造成することは重要なことですが、

その前提として発生する炭素量を最小限に抑える努力が求められます。私たち

が生活する上では、日用品を生産したり必要なエネルギーを得る過程で、どうしても大気中に炭素を放出せざるを得ません。しかし、その際には、可能な限りその量を抑制することが地球環境を守る上で必要なのです。

表一に、各種の材料を製造する際に消費されるエネルギーと炭素の放出量を示します。木材一立方メートルを生産するのに放出さ



れる炭素量は、天然乾燥製材であれば一五割<sup>注1</sup>で、人工乾燥製材の場合は熱エネルギーが必要であるため約二倍の二八割<sup>注2</sup>になります。一方、合板ではプレスを行う際に熱エネルギーを消費するため二〇割<sup>注3</sup>になり、パーティクルボードでは二〇割<sup>注3</sup>とさらに大きくなります。これらのデータから、製造過程でかなりの熱エネルギーを消費する合

板などのエンジニアリングウッドよりは、製材品の方が地球環境に優しい材料であると言えます。しかし、製造時の炭素放出量が最も多いパーティクルボードでも、結果的には炭素を固定したことになり、炭素を放出するのみの非木質系の材料とは際立った違いを見せています。非木質系の材料の中では、特にアルミニウムや鋼材は木質系の材

料とはオーダーが異なるほどの炭素を放出し、地球環境に極めて大きな負荷を与えていることが明白です。

表1 各種材料製造における消費エネルギーと炭素放出量 (資料 Buchanan A.: 1990)

材 料	MJ / kg	天然乾燥材	人工乾燥材	合板	パーティクルボード	鋼材	アルミ	コンクリート	紙
		(比重: 0.50)	(比重: 0.50)						
化石燃料エネルギー		1.5	2.8	12	20	35	435	2.0	26
	MJ / m <sup>3</sup>	750	1,390	6,000	10,000	266,000	1,100,000	4,800	18,000
製造時炭素放出量	kg / ton	30 (32)	56 (201)	218 (283)	308 (345)	700	8,700	50	
	kg / m <sup>3</sup>	15 (16)	28 (100)	120 (156)	200 (224)	5,320	22,000	120	360
製品中の炭素貯蔵量	kg / m <sup>3</sup>	250*1	250*1	248*2	260*3	0	0	0	
±炭素量	kg / m <sup>3</sup>	-235	-222	-128	-60	5,320	22,000	120	
		-234	-150	-92	-36				



( )内は原材燃焼による熱のエネルギーの利用を考慮した場合。  
 廃材からの調達エネルギーを天乾材20MJ, また合板は人乾材の1/2, パーティクルボードは1/3とした。  
 \*1: \*2, \*3: 炭素含有率をそれぞれ50, 45, 40%とした。  
 ±炭素量: 製造時に放出された炭素量 - 製品中に蓄えられた炭素量 (木材が生育時に大気中から吸収して固定した炭素量)

## 林研だより

## 旭町江与味林研グループ

会長 黒木慎一郎  
 会員 七名

旭町は、県の中央部に位置した中山間地域にあります。久米普及指導区内では林野率が最も高く、なかでも古くから造林の進められた江与味地区は優良材の生産地、江与味林業地として知られているところです。

昭和四十六年に結成された江与味林研グループは、現在会員数七名で育林技術を中心に研究及び実践活動に取り組んでいます。月一回から二回、会員の山に全員が集まり、その時期に必要な育林作業を共同で行う、共同育林作業などは、グループの結成以来続けられており、林業技術の向上と情報交換の場となっています。

また、毎年十月に江与味地区の小風呂広場で開催されている「旭町林業祭り」にはグループ会員が主体となつて積極的な取



「旭町林業祭り」せり売り状況

り組みをしており、今年で第五回を数えようとしています。

この催しは、地域の人に出した材の値段や、手入れの違による値段の差、また造林の方法等を知っていただき育林に対する意欲を促すことを目的に始められました。

同催しでは県森連の協力によりせりが行われます。また、「モリの妖精」にもせり売りに協力していただくなどの企画もあり昨年は、二時間あまりで三千三百万円の売り上げがありました。売価では、ヒノキ六

の立方が当たり四十四万円を最もに数多くの材が三十〜四十万円と好値を付け、平均でも十万円と好調に取引されました。

この時期は農繁期と重なり市場への出材が少なくなるため、好値で取引されており出品者の評判が良いようです。出材量も回を重ねることに増え、町内で生産されたヒノキ材を中心に三三〇立方が出材されました。

普段は木材市場に行くことのない年輩の方もこの日ばかりは地元で市が開催されるとあって、自分の育てた材がいくらになるのかと集まってこられます。

当初は一回だけのつもりで始めたこのイベントも、第一回から反響が大きく「来年も続けてほしい」との声を受けて、現在では地区の恒例行事として定着しています。

このような取り組みの結果、県森連の特別市や津山地区林研グループ協議会主催の優良材生産技術共進会等においても江与味の材は高い評価を得ています。また、一昨年からは新たな取

り組みとして、県南の市民サークル「食とみどりを守る会」との交流を図り、林研会員の手入れされた山林や在来工法による木造住宅の建築現場などを見学してもらい、木材の良さをPRするとともに木材の需要拡大にも努めています。

同林研グループには、今後とも旭町の林業振興を担うリーダーとして活動が続けていただくとともに、さらなる発展を期待しております。

(久米普及指導区 Ag安東 誠)

# お知らせ

## 岡山野鳥保護のつどい

五月十日(土)から十六日(金)までの一週間は「愛鳥週間」とされています。これは昭和二十五年に定められたもので、以来この期間を中心に全国一斉に愛鳥週間が展開されます。

岡山県でも愛鳥週間行事として、日本鳥類保護連盟岡山県支部との共催により、次のとおり岡山野鳥保護のつどい及び各地での探鳥会を開催し、大勢のみなさんの参加をお待ちいたします。

- 一 岡山野鳥保護のつどい
  - (一) 日時 平成九年五月一日 午前九時三〇分から
  - (二) 場所 真庭郡勝山町勝山 勝山町民センター

### 二 各地探鳥会

各地方振興局ごとに地域の野鳥の会の協力のもとに開催する。また、関連行事として、県下の児童・生徒を対象とした愛鳥ポスター、また一般のみなさんを対象とした野鳥写真の各コンクールを行いますので、ふるって作品をお寄せください。詳しくは、県庁自然保護課または各地方振興局森林課へお問い合わせください。

(自然保護課 高尾欽也)

## 東備地域美しい森づくりの会の 会員募集について

東備局管内の「美しい森」も昨年の七月末に決定しました。これにともない、森林の施行体験を中心とした、各種イベントを開催し大勢の親子の参加を得て森づくりが出来ました。

今年度も、美しい森をフィールドとして、遊びながら森の事を学んで行くことのできる「遊学」イベントを開催して行きたいと思えます。

このようなイベントに興味のある方は、参加してください。「東備地域美しい森づくりの会」は、あなたの力に期待しています。みんなで一緒に森づくりを進めて行きましょう。

最後に、森づくりの会への加入者も募集しています。

岡山県東備地方振興局森林課内 事務局 ○八六九 九三 一一一

(内線二八二) Ag 檜尾彰久 (東備普及指導区)

## 投稿大募集

今月号から、この「おしらせコーナー」を二頁に拡大しお届けします。

このコーナーでは、会員の皆様方からのお便り、最新情報などを幅広くご紹介し、より親しみやすいものとなるよう、努力していきたいと考えています。

つきましては、林業関係イベントの開催、並びに参加者募集などのお知らせのほか、各地域の現場情報など、お気軽に投稿していただきますよう、よろしくお願いたします。

なお、投稿は一件でも多くの情報を掲載することができ、ますよう、縦十四文字、横二十八行(三百九十二文字)を目安としてお願いしたいと思います。

もちろん、写真についても掲載OKです。

投稿時期・投稿先につきましては、本誌発行月の二か月前の月末までに、最寄りの地方振興局森林課までお願いします。

(林業専門技術員 安東義朗)

「林声」投稿時期

発行月	投稿締切
5月	3月 月末
7月	5月 月末
9月	7月 月末
11月	9月 月末
1月	11月 月末
3月	1月 月末

「林声」投稿先

振興局	住 所
岡山	山形市弓之町6-1
東備	和気郡和気町和気487-2
倉敷	倉敷市羽島1083
井高	笠岡市六番町2-5
高阿	高梁市落合町近尾286-1
真庭	新見市高尾2400
山英	勝山町勝山591
津	津山市山下53
勝	美作市山田291-1



## 岡山空港国際チャーター便運航計画表(予定)

期 間	日数	航空会社	方 面	座席数
8 / 24 (日) ~ 8 / 27 (水)	4	MU	上 海	103
9 / 12 (金) ~ 9 / 15 (月)	4	MU	上 海	103
9 / 15 (月) ~ 9 / 21 (日)	7	MU	上 海	103
9 / 21 (日) ~ 9 / 26 (金)	6	MU	上 海	103
9 / 26 (金) ~ 9 / 29 (月)	4	MU	上 海	103
9 / 29 (月) ~ 10 / 5 (日)	7	MU	上 海	103
10 / 5 (日) ~ 10 / 12 (日)	8	MU	上 海	103
10 / 12 (日) ~ 10 / 16 (木)	5	MU	上 海	103
10 / 16 (木) ~ 10 / 19 (日)	4	MU	上 海	103
12 / 30 (火) ~ 1 / 4 (日)	6	MH	マレーシア	280
5 / 19 (月) ~ 5 / 22 (木)	4	CS	グ ア ム	153
5 / 22 (木) ~ 5 / 25 (日)	4	CS	グ ア ム	153
6 / 9 (月) ~ 6 / 12 (木)	4	CS	グ ア ム	153
6 / 12 (木) ~ 6 / 15 (日)	4	CS	グ ア ム	153
6 / 13 (金) ~ 6 / 16 (月)	4	CS	グ ア ム	153
6 / 16 (月) ~ 6 / 19 (木)	4	CS	グ ア ム	153
6 / 19 (木) ~ 6 / 22 (日)	4	CS	グ ア ム	153
8 / 8 (金) ~ 8 / 11 (月)	4	CS	グ ア ム	153
8 / 11 (月) ~ 8 / 14 (木)	4	CS	グ ア ム	153
9 / 19 (金) ~ 9 / 22 (月)	4	CS	グ ア ム	153
11 / 4 (火) ~ 11 / 7 (金)	4	CS	グ ア ム	153
12 / 29 (月) ~ 1 / 1 (木)	4	CS	グ ア ム	153
1 / 1 (木) ~ 1 / 4 (日)	4	CS	グ ア ム	153

MU : 中国東方航空

MH : マレーシア航空

CS : コンチネンタル・ミクロネシア航空

## 岡山空港からチャーター便で海外へ

岡山空港から中国(上海)、マレーシア、グアム方面へのチャーター便が運航されます。価格も魅力的な旅行商品が多数

企画されており、グループ、個人の旅行や出張に是非ご利用ください。詳しくは近くの海外旅行取扱旅行会社へ

お問い合わせください。  
 なお、岡山空港には、山陽自動車道岡山インターチェンジから車で約10分、しかも一、七〇〇台の無料駐車場が完備しており、大変便利です。岡山空港から直行便で海外へどうぞ。

# 林産物市場況

## 製材 (4月下旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	32 - 37	6.0	一等	42 - 47	10.5	特等	115 - 125
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	33 - 35	12.0	特等	135 - 140
9.0	上一	20 - 22	9.0	上一	22 - 23	"	上小	150 - 160
"	一等	24 - 26	"	一等	33 - 35	13.5	特等	115 - 120
10.5	一等	42 - 45	10.5	一等	75 - 85	"	上小	130 - 140
"	特等	55 - 60	"	特等	95 - 100	ラ ス 板		
"	上小	60 - 70	"	上小	140 - 160	2m 1.2× 9.0		28 - 30
"	無節	80 - 100	"	無節	200 - 230	3m 1.2× 9.0		30 - 32
12.0	特等	43 - 45	12.0	特等	95 - 100	2m 1.5×10.5		22 - 25
"	上小	60 - 65	"	上小	140 - 150	2m 0.9×24.0		65 - 70
"	無節	70 - 80	"	無節	200 - 230	2m 1.5×21.0		38 - 42
長 サ 4m			長 サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	38 - 45	6.0	一等	55 - 65	杉4m 3.0× 3.0	無節	(本) 6 - 8
9.0	上一	20 - 23	9.0	上一	23 - 25	杉4m 4.0× 4.5	無節	(本) 12 - 20
"	一等	30 - 35	"	一等	33 - 35	杉4m 4.5×10.5	無節	230 - 280
10.5	特等	45 - 50	10.5	特等	95 - 100	桧4m 4.5×10.5	上小	250 - 280
12.0	特等	40 - 45	12.0	特等	90 - 95	桧4m 4.5×10.5	無節	280 - 330

## 木材 (4月上旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	11	11	-
	11 - 13	24	30	-
	14 - 16	27	46	-
	18上	22	43	14
4m	7 - 10	16	23	-
	11 - 13	16	-	-
	14 - 16	28	50	-
	18上	20	50	14
6m	14 - 16	32	73	-
	18 - 20	28	60	-

## 乾しいたけ (4月下旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	安 値	高 値
香 信 大 葉	36	76
" 中 葉	32	70
" 小 葉	19	59
バ レ 大 葉	26	59
" 中 葉	17	47
ス ラ イ ス	17	39
香 茹	44	79
上 冬 茹	41	73
並 "	22	74
並 並 "	18	69
小 玉 "	19	19
格 外 品	4	39

### 編集後記

平成九年度の第一号をお届けします。本年度もご愛読のほどよろしく願います。新緑の美しい季節がやってきました。今月号から各地の森林公園をシリーズで紹介しております。皆さんも、ぜひ森林浴にお出かけ下さい。次回は、七月一日発行予定です。皆様方の投稿、お待ちしております。(A)